

令和7年度特産農作物セミナー ～ホップ～

1 趣旨

国産ホップは、近年の地ビール醸造場の増加傾向などと併せて、産地イベント（ホップ収穫祭など）での活用、フレッシュホップビールなどへの根強い需要を有していることから、積極的な取組を行っている産地の取組等を取り上げて国産振興・地域活性化に資する情報・意見交換を行います。

2 開催日時

令和7年11月18日（火）13時～17時15分

3 開催方法

会場参加またはオンライン参加（Zoom Webinars）

4 会場

東京虎ノ門グローバルスクエアコンファレンス 東京都港区虎ノ門1-3-1
東京虎ノ門グローバルスクエア4階 <https://tgsc.tokyo/>

5 定員

オンライン参加 300名 会場 50名（オンライン・会場とも先着順）

6 締め切り

会場参加およびオンライン参加とも定員に達し次第、参加申込を終了いたします。

7 参加方法

事前申し込み 参加費無料

右記のQRコードからも参加申込フォームにアクセスできます。必要事項をご記入のうえ、お申し込み下さい。

※お申し込みによって得られた情報は、厳重に管理し、セミナーの運営のみに使用させていただきます。



【アクセス】

東京虎ノ門グローバルスクエア コンファレンス

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア 4階

東京メトロ銀座線 虎ノ門駅直結（渋谷方面ホーム改札前エレベーター） 12番出口



※天候・災害など不測の事態により、変更や中止があり得ますことをご理解ください。

問合せ先 公益財団法人日本特産農産物協会 ✉ seminar@jsapa.or.jp

基調講演

世界は、いま！ーホップ栽培～ビール醸造ー
岩手大学 国際交流コーディネータ **門馬 孝之氏**



1982年 3月 岩手大学農学部 修士課程
1982年 4月 キリンビール株式会社
2014年10月 岩手大学 農学部 特任教授
2016年 4月- 岩手大学 国際交流コーディネータ

産地報告

日本産ホップ再興に向けた遠野市の挑戦
株式会社Brew Good 代表取締役 **田村 淳一氏**



和歌山県田辺市出身
立命館大学法学部 卒業
株式会社リクルート 入社
退職、岩手県遠野市に移住
株式会社遠野醸造 設立
ビール醸造所兼レストラン 開業
株式会社Brew Good 創業
令和7年 新醸造所「GOOD HOPS」開業

横手のホップを未来へ！～伝統の50年から挑戦の100年へ～
大雄ホップ農業協同組合 代表理事組合長 **土田 章之氏**



平成 2年 先代よりホップ栽培を引き継ぐ
平成24年 大雄ホップ農業協同組合 理事に就任
平成30年4月 第一理事に就任
令和 6年4月 代表理事組合長に就任

日本におけるアメリカンホップ栽培への挑戦

帯那ホップス合同会社 代表・ヘッドブルー/Obina Brewing 代表・ヘッドブルー/山梨県立大学 非常勤講師
David Prucha氏



2005年 コロンビア大学（ニューヨーク） 修士（文学修士） 取得
1999年 4月 拓殖大学 商学部 准教授
2020年 4月 - 山梨県立大学 非常勤講師
Obina Hops合同会社 代表
Obina ホップ農園 設立・代表/農業経営者
2022年 5月 - Obina Brewing 代表・ヘッドブルー

不可能を可能に！ファンを巻き込んだ宮崎県産ホップ栽培の挑戦と地域貢献
宮崎ひでじビール株式会社 代表取締役 **永野 時彦氏**



1968年 株式会社ニシダ（現ニシダHD） 入社
ひでじビール行醸造所に所属。ビール事業部統括
2010年10月 宮崎ひでじビール株式会社として独立、同社社長に就任
宮崎県産麦芽100%のビールの開発の成功。また、九州初のホップの栽培にも成功
2018年 新ブランド『九州CRAFT』を立ち上げ